

【文化協会】

- (１) 設立目的：文化振興事業に関する事業を行い、市民文化の向上・発展を図るとともに市民相互の交流拡大に寄与することを目的とする。
- (２) 事業内容：①文化振興事業の実施（市文化祭、市民文化教室、音楽のつどい、特別事業、市展、文学のしるべ、市合唱祭、百人一首かるた大会、文協フェスティバル）
②中丹地域における文化事業に対する協力及び支援（中丹文化芸術祭、中丹文化交流フェスタ、３町文化祭）
③文化活動に貢献した団体及び個人の顕彰
④会誌その他出版物の刊行（しんかわらばん 年３回発行）
⑤文化施設の管理運営（福知山市上下水道部厚生棟の管理）
⑥その他目的を達成するために必要な事業

項目	中期経営計画	取組内容	取組結果	評価結果
合目的性	○外郭団体としての役割、目標の達成度を測る成果指標の達成状況 を評価し、市の文化施策の振興への貢献度を検証する。	●外郭団体としての役割、目標の達成度を測る成果指標の達成状況 を評価し、市の文化施策の振興への貢献度を検証する。 【R5取組】 成果指標に基づき活動を評価し市施策に推進に係る貢献度を検証する。	・コロナ禍からの回復傾向の中、令和に入ってから初めて年度当初 に予定した本部事業を全て行うことができた。 【R5主な事業（カッコ内 R4）】 市民文化教室…14教室64回108人延355人(15教室65回91人延318人) 特別事業… ジャズ・フラメンコカルテット・アンサンブルコンサート 439人（前年中止） 市展… 312人424点応募 延2007人入場 (344人456点応募 延2287人入場) 市合唱祭… 32団体699人 233人鑑賞（29団体791人202人鑑賞） 文教フェスティバル…1530人入場（1295人入場）	一次評価（団体自身の評価）
				◎このところ加盟団体所属会員の減少傾向に歯止めがかからない状況であり、会費収入の減少や高齢化に伴う事業実施の困難性が増していることから、今後の当協会の継続的な活動の展開に向け、財源確保や事業実施の両面にわたり根本的な見直しを行うべく年間にわたり役員全員で協議を重ね、一定の方向性をまとめた。
採算性	○経営基盤を強化し、公益社団法人の利点を活かした財務戦略を展開する。 ・経費節減に努め効率的な事業運営 ・自主事業や収益事業の積極的な実施 ・新たな収入手段の確保	●寄付金収入の確保や事業収益の増加に取組むことで自主財源の比率を増やし、自助努力による自立した運営を目指す。 【R5取組】 寄附を含む自主財源の確保に努め、財政面においても自助努力による自立した団体運営を目指す。	・1個人より当協会の文化活動に役立ててほしいとの趣旨で300千円の寄附をいただいた。 (R4：0円、R5：300千円) ・4年ぶりに開催した特別事業において、精力的なチケット販売により大幅な収益増となり、収支を比較すると236千円の黒字を計上することができたほか、広報誌「しんかわらばん」や、特別事業・文協フェスティバルのプログラムに広告を募集のうえ掲載し、広告収入を21千円確保した。 (R4：24千円、R5：21千円)	
事業性	○多様な文化芸術と結びつくことで、市民の心の癒しを実感できる活動を展開する。 ・質の高い文化芸術の提供 ・文化活動ネットワークの拡充 ・地域の文化力のさらなる向上 ○事業方針や財務方針を実現に繋げるため、組織運営体制を構築する。 ・役員には幅広い年代から多様な人材を登用 ・事業、経営状況の透明性の確保と積極的な広報 ・デジタル化の推進等の事業改善	●会員数の減少や高齢化が進む中、外郭団体として求められる活動を維持できる規模や活動量を確保するため、会員数の維持・増加に向け積極的に取り組む。 【R5取組】 会員数の維持・増加に向け積極的に取り組む。	・未加盟団体や初心者を対象とした市民文化教室の受講者に加入を呼びかけるなど、会員数の増加に向け取り組みを行ったが、高齢化と合わせコロナ禍で練習や発表の機会が失われ活動の意義を見出せなくなったことなどから、このところ加盟団体所属会員が大幅に減少している。 (R4：茶道教室「表千家」が退会、R5：「西日本創作粘土協会」が退会、和太鼓サークル「音楽ユニット音芸師HOMURA」が加入し団体数は変動なし)	二次評価（市所管課評価）
				・団体の経営計画に基づき、目的とする事業が一定行うことができ、文化振興・市民交流・文化的教養の向上に寄与されたと評価する。 ・加盟団体の会員減少の中でも、新規団体の加入もあり、会員同士の声かけなどで未加盟団体への広がりが成功している。 ・開講できなかった教室の背景にジャンルの形骸化・若手が目指す芸術文化とのズレなどがあると考えるが、ニーズに合わせた新規ジャンルの活動を取り入れたり、既存の分野・部門を超えたコラボレーションなど、企画における変革も必要であり、共に協議を進めていきたい。
その他	○多様な文化芸術と結びつくことで、市民の心の癒しを実感できる活動を展開する。 ・質の高い文化芸術の提供 ・文化活動ネットワークの拡充 ・地域の文化力のさらなる向上	●設立目的を実現するため、独立した事業体として今日的な市民ニーズを的確に捉え、市の文化施策と合致する事業展開を行う。 【R5取組】 市の文化施策と合致する自主事業を開催し、合わせて毎年1件の新規教室を開設する。	・福知山市文化祭の開催件数がコロナ禍前の状況に戻りつつあるほか、初心者を対象にした市民文化教室については新たに「能の世界を体感しよう！」教室を開講することができた。（開講を予定していたが申込者数が少なく開講できなかった4件については、件数から除いている） R5開講不可：「自宅でできる尺八講座」「水墨画」「売茶真流」「クラシックバレエ」いずれも0人～1人の申込につき中止	・分野に偏りなく、未加入団体・市民に快く加入いただける協会の持続的な取り組みを市も共に進めていきたい。